



ともに生き、ともに育むまち
歴史と文化がくらしの中に息づく
”新斑鳩の里“



自分でつくった方がおいしい!?
～ お弁当づくり教室 ～

2013
10
No. 577

2
アーカイブ化しよう
「斑鳩の記憶」
—— 特集

- 6 まちの話題
- 8 斑鳩町歴史的風致維持向上
計画(案)に対する意見を募
集します
- 9 いにしへの風く斑鳩文化財センターだより
- 10 わたしが私らしくあるために
- 11 バゴちゃんの地球となかよし
- 12 まちの情報
- 20 ほげんだより

あなたの記憶を未来の生活資源に！

アーカイブ化しよう 「斑鳩の記憶」

竜田川（竜田大橋南側）

過去は未来の 手掛かりでもある



京都大学地域研究
統合情報センター
谷川 竜一 助教

私は斑鳩町出身で、この町には懐かしい思い出がいっぱいあります。今の仕事は日本やアジアの建築の歴史研究ですが、その中で昔の出来事が「新鮮だ」と感じることもあります。例えば今回のワークショップでも、竜田川で人々が船を浮かべてお花見や紅葉狩りをしている古い写真を見ましたが、とても贅沢ですね。そんな風流な遊びは思いもよらなかった。失われた過去の歴史を見ると、逆に「将来、こんな生活もありえるかも」と思うことができますよね。過去は未来の手掛かりでもあるわけですが、でも、そうした過去の記憶は建築の歴史だけではわからないうえ、生活に密着した記憶であるほど、あたりまえすぎて歴史に残りません。そんな思いから、生活の記憶を残す必要を感じています。私の所属するセンターでは、日本や世界の地域の歴史・文化のデータベースを研究者が作る一方で、研究者以外の方々とも協働してさまざまな事業を進めています。今回、住民のみなさんと協働でさせていただいたワークショップでは、こうした試みに関して経験豊富な若いリサーチ・グループであるRADが、大きな力添えをしてくださっています。

斑鳩町には、数多くの文化資産があります。一般的には、その多くは観光資源として認知されていますが、三室山の桜、竜田川の水辺など斑鳩に住む私たちにとって、それらは日常生活と密接に関係を持っています。これら生活資源の場で育まれてきたモノや風景、習わしや記憶は、現在の斑鳩の住民の生活資源というだけでなく、未来の斑鳩の住民一人ひとりに残していくべき価値をもつ未来の生活資源ともいえます。町立図書館では、住民のみなさんが所蔵する斑鳩に関する古い写真や映像、その他の生活情報を持続的に収集し、整理・活用をはかっていく試み（「斑鳩の記憶」アーカイブ化事業）をはじめました。この事業では、郷土史家や学術機関、住民のみなさんと連携し、ワークショップ（協働作業）をおこなないから、情報を蓄積していきます。今月は、町と共同でこの事業をすすめている京都大学地域研究統合情報センター助教の谷川竜一さん、リサーチ・グループRADの榎原充大さんのお話とともにアーカイブ化事業の内容をご紹介します。

※アーカイブとは、コンピュータ上で、関連のあるファイルをひとつにまとめたもので、そもそもは記録を保存する書庫のことを言います。

現在、地方自治への流れは加速しており、自治体には自立的な経営と地域間競争に勝ち抜く魅力的なまちづくりが求められています。そのため、斑鳩町では、その豊かな歴史的・文化的資源や自然環境をいかし、まちづくりの重点目標として「歴史・文化の拠点づくりと活用」を掲げ、住民のみなさんと協働して文化施設を拠点とした多様な情報収集やその発信事業、施設の活用に取り組んでいます。ご紹介する「斑鳩の記憶」アーカイブ化事業もその一環で、「斑鳩」といえば誰もが思い浮かべる法隆寺・聖徳太子に関する図書・古文書資料にとどまらず、人々の生活・文化・写真・映像等の非文字資料、自然・生態などの環境資料までを「斑鳩の記憶」とし、主にデジタル技術を使いながら、聖徳太子歴史資料室においてそれらのアーカイブ化をめざしています。

これからも斑鳩らしいまちのイメージを形成するとともに、住民のみなさんが誇りや愛着を育み、斑鳩を訪れる人との交流の基盤となるまちづくりをすすめてまいります。



小城 利重 斑鳩町長



法隆寺松並木参道



亀田公園

聖徳太子歴史資料室では、法隆寺、聖徳太子に関する本など市販されているものだけでなく、住民のみなさんが寄贈した自家製の写真集や地域のことを記した本を見たりすることができ、これらに関する質問も多く寄せられます。また、斑鳩に関することであれば、さらに詳しい人に情報照会するサービスもあります。図書館は、情報が行き交い、幅広い年齢層の人が日常的に訪れることのできる公共施設です。地域資料は公開、活用していく中で育てていくもの。ここに情報を集め、「斑鳩の記憶」をみんなで紡いでいきたいと思います。

みんなの「懐かしい」をかたちに



リサーチ・グループ
RAD
榎原 充大さん

私たちは、まちの新しい見方をより具体的に提案したいと考えています。ワークショップの準備や「斑鳩の記憶」のデータベース構築にあたり、斑鳩の古い写真を映り込んでいる道ごとに集める、という手法をとりました。このアイデアは、町内の集落や道を図書館のスタッフとつよに自転車で巡り、また、資料室に入室されるみなさんのお話をうかがいながら、地域情報資源である人材やモノをいかに集めるかを検討する中で生まれてきたものでした。難しい理論ではなく、斑鳩のみなさんの生活の中に入りこんで一緒に考える、というのが基本スタンスです。

昔の写真には、当時の道、田畑、川、標識、橋、町並みなど、みんなが「懐かしい」と思えるような風景が思いがけず映りこんでいます。また、おもちゃ、衣類、車など、昔のくらしを語るモノもあります。写真だけでなく、これら地域の環境と生活を支える彩る情報を加え、集めることによって、住環境の変化や、世代交代があっても大切な「斑鳩の記憶」を住民のみなさんとともに図書館で維持できる仕組みづくりを考えていきます。

「斑鳩の記憶」は

こうして紡ぐ

—「写真でたどろう」

斑鳩の道

第1回ワークショップ

風景から—

斑鳩の記憶をアーカイブ化するための具体的な作業として、6月30日、住民のみなさんとの協働でおこなうワークショップの第1回目が行われました。その模様をレポートします。



▲一枚一枚に参加者の思い出がいっぱい詰まっています

参加者のみなさんからは、たくさん古い写真を持ち寄られました。「お互いの写真を眺めるだけで、タイムスリップしたような気持ちになる。」との声もきかれました。



▲地図におとすことで、またあらたな記憶がよみがえることも

持ち寄った写真に関する年代、場所、映っている町並み、道、景色などの情報をコメントシートに記入して整理しました。他の人が撮影した写真から、話をしながらそれぞれの記憶を引き出すのがポイントになります。



▲自分の記憶だけでなく、参加者のお互いの記憶が活きた情報に

斑鳩の道を拡大した都市地図に、道沿いに写真をはりつけていき、「思い出マップ」を作成（左写真）。このマップを眺めながら、それぞれの道にまつわる記憶を、ひとりずつ語ってもらいました。今回は、「服部道」（JR法隆寺駅から、竜田川まで東西に通る道）を中心に話をしていたできました。まわりの人の記憶に促さ



れ、ご本人にとっても思いがけない記憶がよみがえってきます。「そういえば昔、この川でシジミがとれた。」「ここに共同の井戸があった。家にある井戸よりも深い井戸で、その水は、冷たくきれいだった。よく

汲みにいかされたものですよ。」記憶を数珠つなぎにして、かつての斑鳩の風景が見えてきました。



当日作成した「思い出マップ」は歴史資料室でパネルにして展示しています。後日マップの写真やコメントをみた来室者のみなさんからも、JR法隆寺駅周辺の記憶として、「そういえば、当時の通勤列車はのどかなもので、天王寺の駅では、走りだしている列車に飛び乗った。」「夕暮れ、大和川を越え法隆寺の駅に近づいてくると、車窓から見える景色は、家の光もなくほんとうに真つ暗だった。」など、心の中に残っていた風景がよみがえるような話もきかれ、写真の持つ力を改めて感じました。

「斑鳩の記憶」の

いからから

— 成果の公開と

今後のワークショップ

— Ikaru —

現在、町立図書館聖徳太子歴史資料室では、第1回目のワークショップで集まった写真の情報を整理中です。この整理の方法についても、郷土史家や学術機関と連携しながら、住民のみなさんとワークショップを通して、ともに検討していきます。

また、ワークショップの成果であるアーカイブの一部をウェブサイトで閲覧できるように整備をすすめています。〔斑鳩の記憶データベース Chienowa Ikaru〕このデータベースはキーワードに応じた抽出、地図からの絞り込みが可能で、写真などの解説も含め閲覧できるように整備する予定です。写真資料の公開はゴールではなく、公開により、画像内容についてより正確な情報を得る手段ともなります。みなさんからたくさん写真や情報が集まれば集まるほどその用途が広がり、利用価



▲「斑鳩の記憶データベース Chienowa Ikaru」(整備中)のイメージ

値が高まります。

1回目のワークショップでは、地域を限定せず、幅広くどのような種類の写真が集まるかを検討しました。今後は回ごとに対象地域やテーマを定めながら地域の写真を募集し開催します。

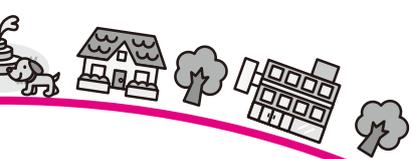
次回は、龍田周辺の道や食の風景などを取り上げるワークショップを予定しています。写真を持っている人、この地域に思い出、関心がある人、ぜひみなさんご参加をお待ちしています。詳しい日程につきましては、広報「斑鳩」でお知らせします。

いからがホールで 懐かしの写真が見られます

町立図書館入口前の、いからがホールの1階市民ロビーにある大型マルチビジョンを改修し、新しくなったマルチビジョンを運用しています。その放映内容のひとつとして、斑鳩町が所蔵する、または提供を受けた古い写真を使ったスライドショー『ふるさとアーカイブス』を作成し、土曜・日曜日、祝日や、大型イベントがある平日を中心に放映しています。ワークショップには興味があるけど、どういつ写真を探せばいいのかイメージがわからないという人は、ぜひ、このスライドショーを見に来てください。



多くの写真を提供いただいた市村善夫さんといからがホールの大型マルチビジョン



音楽で復興支援を息長く

～ 東日本大震災復興チャリティーコンサート ～

9/7・いかるがホール

東日本大震災の被災地である陸前高田市の流木で製作された津波ヴァイオリンとストラティヴアリウス、ピアノによるチャリティーコンサートが斑鳩コネスコ協会の主催で開催され、ヴァイオリニストの中澤さみ子さんと、ピアニストのヘンリ・シーグフリードソンさんにより、「からたちの花」「故郷」「花は咲く」など、数々の名曲が奏でられました。

公演の中で弦楽器製作者の中澤宗幸さんによって語られた津波ヴァイオリンの誕生の話の後に聞く音色は、700人の観客の心により一層深く響いたようで、会場は大きな拍手と感動に包まれていました。

また、このコンサートの収益金の64万円と、会場での義援金114,638円は、岩手県の陸前高田市と大槌町に送られました。



はじめよう みんなが主役のまちづくり

～ 協働のまちづくりフォーラム ～

9/1・中央公民館

住民と行政の協働のまちづくりをすすめるため、住民・NPO・ボランティア団体等が参加し、まちづくりについてともに考えるフォーラムがひらかれました。

立命館大学客員教授の高田昇氏による基調講演で、なぜ今協働のまちづくりが必要かを考えたのち、小城利重町長に加え、NPO法人ビハーラ紫苑の吉田尚子さん、斑鳩町地球温暖化対策地域協議会の木崎典子さんをパネリストとして、高田教授のコーディネートでパネルディスカッションがおこなわれ、現状と課題や今後の展望について、さまざまな見方が示されました。「協働の木」と名付けられた、意見の掲出ボードには、参加者から100件以上の提案等が寄せられ、協働の必要性の気運の高まりを感じさせる集会となりました。



明るくて和み守らぐ憩いの場

～ 生き生きプラザ斑鳩・開館5周年記念事業 ～

9/7・生き生きプラザ斑鳩

小吉田1丁目の斑鳩町総合保健福祉会館（通称「生き生きプラザ斑鳩」）が、平成20年9月のオープンから数えて5周年を迎えたことから、各種の記念事業がおこなわれました。

調理室では5歳児による料理教室「キッズトントン教室」がひらかれ、かわいいいちびっこシェフが立派に包丁を握って、料理に挑戦しました。機能回復訓練コーナーでは、「チャレンジ介護予防！」の運動教室がおこなわれ、代謝と脳を活性化する「生き生き体操」を体験しました。また、親子で有酸素運動をする「ベビータンダンス」もおこなわれ、さわやかな汗をかきながら、楽しくふれあいました。

そのほかにもボランティア活動の展示や相談コーナー、ありがとうき市等が催され、にぎわいのあるコミュニティの場となりました。





斑 鳩と子どもの未来 花開け

～ 斑鳩町子ども模擬議会 ～

8/9・本会議場

子どもたちの体験学習の一環として、町内の小学6年から中学1年生を対象に子ども模擬議会がおこなわれました。

18人の1日議員からは、「観光客がゆっくり休める休憩所を作ってはどうか」「歴史ある町に防犯灯を設置してはどうか」「年齢に関係なく快適に過ごすことができる公園づくりをしてほしい」など、幅広い意見や提案が発表されました。

各学校から選ばれた1日議員たちは、緊張しながらも堂々と自分の意見を発表していました。



少 林寺 親子でつがんだ 世界一

～ 少林寺拳法世界一の親子 表敬訪問～

8/30・町長室

8月24日・25日に大阪でおこなわれた、2013年の少林寺拳法の世界大会の「親子の部」で、斑鳩小学校4年生河原真二さんと、父親の河原草二さんが見事世界一位に輝き、その報告に町長室を訪れました。

「本当におめでとう。」と町長から声をかけられた真二さんは「大会に出るまではドキドキして思うように練習ができなかったけど、本番の会場に立った時には、絶対に勝つと思って頑張れた。」と語り、親子でつがんだ世界一の喜びをかみしめているようでした。



お 弁当 自分で作れば おいしいね

～ 子どもが作るお弁当作り教室 ～

8/21・生き生きプラザ斑鳩

小学4～6年生を対象に、日ごろは作ってもらうことが多いお弁当を自分で作って、その楽しみを知ってもらおうという料理教室がひらかれました。

この日は「彩りちらし」「えびのベーコンまきソテー」「いわしの衣揚げ」など6品を、食生活改善推進員さんのアドバイスを受けながら作りました。参加したみなさんは、お弁当箱につめたときの華やかさと食べたときのおいしさに、笑顔と驚きでいっぱいようすでした。



防 犯力 地域ぐるみで 高めよう

～ 身近な犯罪から家庭を守る町民集会 ～

8/24・いかるがホール

「地域の安全は住民自身で守る」という自主防犯意識を高めるため、「身近な犯罪から家庭を守る町民集会」が開催されました。集会では、西和警察署法隆寺駅前交番所長の土井美苗さんにより、「斑鳩町の自主防犯団体の取り組みと犯罪情勢について」と題した講演がおこなわれました。講演では、地域において自主防犯団体組織をつくることで、防犯意識が高まった実例などが紹介されました。

地域の防犯力を高めるには、ちょっとした知識を得ること、そしてそれを家族や近所の人に教えることが大切だという話に、参加者は納得しているようすでした。



斑鳩町歴史的風致維持向上計画(案)に 対する意見を募集します

観光産業課 (☎内線212)

斑鳩町では、歴史的建造物、伝統行事、地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な環境を維持および向上させ、後世に継承するまちづくりをすすめるための「斑鳩町歴史的風致維持向上計画」について、有識者、民間事業者や関係行政職員などから構成される斑鳩町歴史まちづくり推進協議会において、審議を重ねながら、計画案の作成を進めてきました。

このたび、計画案がまとまりましたので、みなさんからの意見を募集します。

1. 応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に在住または勤務している人 ・町内に事業所を有する個人または法人
2. 意見の提出方法	<p>住所・氏名または名称、連絡先を必ず記入のうえ、次のいずれかの方法により提出してください。(様式自由)</p> <p>① 郵送：〒636-0198 住所不要 斑鳩町役場観光産業課宛</p> <p>② fax：0745-74-1011</p> <p>③ Eメール：kankou@town.ikaruga.nara.jp</p> <p>④ 窓口へ直接持参(土曜・日曜日、祝日を除く)</p> <p>※電話での受け付けはできません。</p>
3. 計画(案)の閲覧期間	10月3日(木)～10月23日(水)
4. 意見の提出期限	10月23日(水)まで(※郵送で提出の場合は期間内の消印有効)
5. 計画(案)の閲覧場所	<p>① 観光産業課窓口</p> <p>② 中央・東・西公民館</p> <p>③ 町ホームページ (http://www.town.ikaruga.nara.jp/)</p>
6. 意見および考え方の公表	原則として、提出いただいた意見の内容および意見に対する町の考え方を公表します。(個別には回答をしませんので、あらかじめご了承ください)

7月中の、奈良県下における住宅対象侵入窃盗の被害件数は41件で、日中の留守中に家屋に侵入される空き巣が33件、日中の在宅中に家屋に侵入される居空きが1件、就寝中、家屋に侵入される忍び込みが7件となっています。今年に入ってからこれらの窃盗の被害は、鍵のかかっていない扉、窓から侵入された被害が約4割にのぼり、格好の標的になってしまっています。

被害に遭わないために

- 外出時はもちろん、寝るときも必ず窓を閉め、施錠する。
- 人が出入りできる窓や扉などには補助錠や防犯センサー、防犯ガラスフィルムなどを取り付けるなどして、二重、三重の防犯対策を心がける。

※防犯対策機器は、防犯グッズ専門店やホームセンターなどで販売しています。

窓からの侵入に要注意

斑鳩交番だよ

西和警察署
☎0745
(720110)



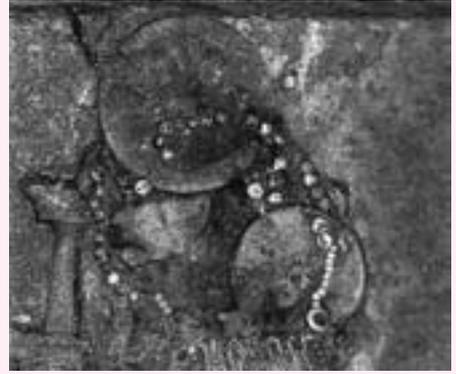
いにしへの 風

～斑鳩文化財センター
だより～

斑鳩文化財センター
(☎0745-70-1200)

今月号では、11月2日(土)から12月1日(日)まで開催します
平成25年度秋季特別展「斑鳩
藤ノ木古墳の銅鏡展 —鏡副葬
の意義をさぐる—」についてお
話します。

※開催内容については、17ページ
に掲載しています。



◀藤ノ木古墳の銅鏡の出土状況

4面の銅鏡が副葬された意味とは？

国宝藤ノ木古墳出土品の里帰り

斑鳩文化財センターでは、平成22年3月の開館以来、毎年秋季に国宝藤ノ木古墳出土品の里帰り展示をおこなっています。これまでに豪華な馬具類、銅鏡、金属製空玉やガラス玉類のほか、金銅製冠や履、装飾大刀の復元品などを展示しました。

今回の展示会では、藤ノ木古墳から出土した4面の「銅鏡」の里帰り展示をおこなうとともに、県内の古墳から出土したさまざまな銅鏡を展示します。

藤ノ木古墳から出土した4面の銅鏡の意義

お墓に銅鏡を副葬する慣習は、紀元前3世紀～紀元後3世紀前半頃の弥生時代から見られます。やがて古墳時代に入ると、権力者の銅鏡への愛好はさらに強くなり、3世紀後半～4世紀頃の古墳時代前期には、1つの古墳に、直径20cm以上もある三角縁神獸鏡をはじめ数多くの銅鏡が副葬されるようになりました。黒塚古墳(天理市)では、34面もの銅鏡が副葬される例も見られ、近年再調査された桜井茶臼山古墳(桜井市)では、81面分の銅鏡の破片が見つかり、大変話題となりました。こうし

たことから、銅鏡は葬具の一種として副葬されたとする考えもあります。

5世紀を中心とした古墳時代中期では、それまでとは異なり、直径10cm前後の比較的小さな日本製の銅鏡を1面ないし数面を副葬することが一般的となりました。6世紀を中心とする古墳時代後期になると、銅鏡の副葬はさらに少なくなり、平林古墳(葛城市)や烏土塚古墳(平群町)などの大型の横穴式石室を有する古墳でも1面しか出土していません。

そうしたなかで、同じ古墳時代後期に造営された藤ノ木古墳では、石棺内の南側被葬者の頭部付近に1面(獸帯鏡)と、北側被葬者の頭部付近に3面(環状乳画文帯神獸鏡、画文帯仏獸鏡、神獸鏡)の合計4面の銅鏡が副葬されました。藤ノ木古墳における銅鏡の多葬は、埴輪の採用とともに、大和王権の伝統的な葬送儀礼を意識したものと考えるもあり、これらの銅鏡の副葬のあり方に、被葬者を考えるうえで重要なヒントが隠されているかもしれません。

藤ノ木古墳以外にも、斑鳩大塚古墳出土の銅鏡も展示しますので、ぜひ文化財センターへ来て、色々な銅鏡を見てください。



てんいち先生

※「てんいち」とは、てん(英語の10)と、いち(1)を合わせて11(毎月11日は人権を確かめあう日)という意味です。

わたしが 私らしく あるために

ver. 139

男女共同参画
社会をつくろう

祖父は孫にとって 意外に身近な存在

子育てを楽しむ父親のことを「イクメン」と呼びます。平成22年6月の改正育児・介護休業法の施行と同時に厚生労働省が立ち上げた「イクメン・プロジェクト」などにより、その名が広く知られるようになりました。

イクメンに対して、孫世代の育児に積極的にかかわるシニア男性のことを「イクジイ」と呼ぶのを知っていますか。この世代の男性の多くは、これまで仕事一筋で子育てにかかわる機会が少なかったため、「男が育児なんてとんでもない」という価値観を持っていると思われるがちですが、孫のクラブ活動にかかわるおじいちゃんや塾の送迎を

いわゆる団塊の世代が続々と仕事をリタイヤし、時間的な余裕を持つ男性が増えてきました。小さな孫を持つようになることが多いこの世代の男性は、育児への参画をどう捉えているのでしょうか。

「イクジイ」のすすめ

するおじいちゃんなど、「イクジイ」は珍しい存在ではなくなってきました。

昨年におこなわれた民間の調査では、孫がいる男性の約7割が月1回以上孫に会っていて、過半数が、孫と過ごすことは自分の楽しみだと考えているようです。50代、60代の若い祖父の呼称として最も多いのは「じいじ」で、孫世代にとっても祖父は身近で親しみやすい存在になっていると言えそうです。

全ボランティアなどの、地域の子どもたちとかかわる活動で力を発揮することは、自身の生きがいとしてはもちろん、地域にとっても大きな意味を持つことでしょう。

イクメンが注目される一方、育児をしたくても仕事の都合などでできない父親はまだ多いようです。そんなときこそ経験豊富なおじいちゃんの出番です。一緒に子育てをして「イクジイ」デビューしてみませんか。

自分の孫だけでなく

定年退職後、「何か社会の役に立つことをしたい」「これまでの経験を元に社会に何か恩返しができないだろうか」と考えている人はたくさんおられます。体力・気力ともまだまだ元気なシニア男性が育児をあらためて経験し、その上で地域の自治会・子ども会の活動や学校安



●おすすめの本● 『金継ぎのすすめ』



小澤典代編 誠文堂新光社

「金継ぎ」とは、割れた器や欠けた器を修繕する技法です。漆で断面を継ぎ、金銀で上化粧された修復の跡は「景色」と呼ばれ、単なる器の修復にとどまらず、芸術として鑑賞されています。

この本では、金継ぎの器を愛用する人々が語る金継ぎの魅力や金継ぎ作家の仕事、そして金継ぎの方法が豊富な絵と写真で紹介されています。思い出の器やお気に入りの器をもう一度使いたいとき、金継ぎを施してみたいかがでしょうか。

図書館 だより

☎ 07457733



「親子であそぼ・秋」

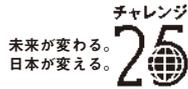
子どもと一緒に楽しめる絵本やわらべうたを紹介します。

パゴちゃんの地球とながよし

※チャレンジ25キャンペーンは、地球と日本の環境を守り未来の子どもたちに引き継いでいくため、地球温暖化防止対策を推進する国民運動として、政府が展開しているキャンペーンです。斑鳩町役場もチャレンジャーとして登録しています。



斑鳩町では、毎年、小学4年生から6年生を対象に、夏休み親子環境教室を実施しているんだ。今年もみんな楽しく、環境について学んだよ。

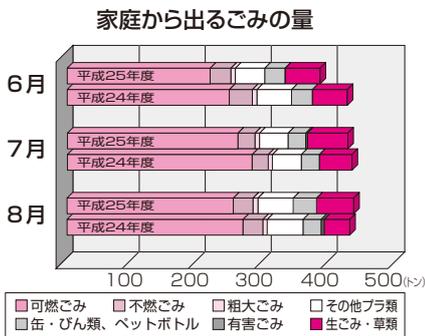


親子で学ぶ環境教室！

●夏の親子環境教室

環境について、親子で考えるきっかけになるように、斑鳩町では毎年、親子環境教室を実施しています。

今年は、町内に住む水生生物を調査する「水生生物探検教室」と、斑鳩町地球温暖化対策地域協議会（愛称：エコるが）によるソーラーランタンづくり教室を開催し、2教室合わせて42組75名の親子が参加しました。



8月の生ごみたい肥化量25,202kg
可燃ごみの9.1%をたい肥化できました

※モデル世帯数3,064世帯（8月末）

●水生生物探検教室

この教室は平成10年から実施していますが、竜田川では、少しずつ、きれいな川に住む生き物が増えてきています。



参加者の声♪

川にいる生き物で、川が汚れているかどうか、分かるなんてびっくりしました。たくさんの生き物が住む川をきれいにしなれないといけないと思いました。

●ソーラーランタンづくり教室（主催：エコるが）



太陽の光を利用して蓄電し、光るソーラーランタンをつくりました。

参加者の声♪

ライトをつけたらすごくきれいで嬉しかったです。



毎月10日と20日は陶器回収の日（10月の陶器等回収日）

10月10日(木)・10月21日(月)

役場環境対策課（午前8時30分～午後5時30分）

衛生処理場（幸前2-8-9）（午前8時30分～午後3時30分）

※衛生処理場のみ、10月12日(土)、10月27日(日)も受け付けします。

— 今月のおはなし会 —

町立図書館

日時 10月9日(水) 午後2時～

10月19日(土) 午後3時～

公民館図書室

図書室（中央・東公民館）

日時 10月8日(火) 午後2時～

図書室（西公民館）

日時 10月8日(火) 午前11時～

日時 第1回 10月24日(木)

第2回 11月7日(木)

2・3歳（午前10時～10時40分）

0・1歳（午前11時～11時30分）

場所 いかるがホール和室

対象 3歳以下のお子さんと保護者

（0・1歳、2・3歳それぞれ15組）

先着順

講師 平井富久子氏（かしの木文庫）

申込 10月17日(木)までに、はがき

電話・fax・Eメールで住所、

氏名、電話番号、お子さまの名前、

年齢をお知らせください。

Eメールアドレス

mailmaster@library/kanuga.jp



情報

主な連絡先

- 斑鳩町役場 0745-74-1001
- 上水道課 0745-74-1401
- 下水道課 0745-74-2406
- 町立図書館 0745-75-7733
- 中央公民館 0745-74-1511
- 東公民館 0745-74-4122
- 西公民館 0745-75-3911
- 中央体育館 0745-75-3100
- 斑鳩文化財センター 0745-70-1200
- 生き生きプラザ斑鳩 0745-70-1000
- 保健センター 0745-70-0001
- 斑鳩町観光協会 0745-74-6800
- ふれあい交流センター 0745-74-0990
- 衛生処理場 0745-74-2371
- 西老人憩の家 0745-74-1517
- 東老人憩の家 0745-74-5050
- 三室休日診療所 0745-74-4100
- いかるがホール 0745-75-7743
- 斑鳩町シルバー人材センター 0745-75-0884
- 斑鳩町地域包括支援センター 0745-75-4000

※情報内の問合せの電話番号の記載のない場合は、上記電話番号をご確認ください。

寄附のお礼

(敬称略)

中西 啓雄
版画

「横山大観筆
山十題の内
山の春」

(但し、斑鳩町
法隆寺五丁地区

地域交流館備品として)
厚く御礼申し上げます。



募集

紅葉祭り

フリーマーケット出店者募集

斑鳩町観光協会

(☎0745⑦6800)

日時 11月30日(土)～12月1日(日)

午前10時～午後3時頃

場所 竜田公園内

募集区画 70区画

(1区画約3m×2.5m)

※出店者用駐車場はありません。

出店料(1区画あたり)

斑鳩文化財センターの
臨時休館

斑鳩文化財センター

(☎0745⑦1200)

11月2日(土)から開催します秋季特別展「斑鳩 藤ノ木古墳の銅鏡展」鏡副葬の意義をさぐる」の展示替えのため、左記期間を臨時休館します。

期間 10月29日(火)～11月1日(金)
12月2日(月)～3日(火)

町内在住者 2,000円
町外在住者 3,000円
申込 10月15日(火)～25日(金)午前9時～午後5時、電話で受付。(各日1申込1区画限定。希望者多数の場合抽選)
※その他詳しくは、斑鳩町観光協会に問い合わせてください。

10月20日(日)に、町長選挙を執行する予定です。みなさんそろって投票しましょう。

10月の相談

	相談日	時間	場所	申込
無料法律相談	8日(火)、15日(火)、22日(火) (電話予約申込順) 24日(木)	13:00～16:00	役場1階 第2会議室	住民課 (☎内線163)
消費生活相談	3日(木)、10日(木)、17日(木)、31日(木)	9:00～16:00	役場1階 第3会議室	申込不要 問合せ住民課 (☎内線163)
人権相談	9日(水) (毎月第2水曜日)	13:00～16:00		
行政相談	1日(火) (毎月第1火曜日)	13:00～16:00		
青少年悩みごと 教育相談	毎週火・金・土曜日	9:00～16:00	中央公民館	事前に☎0745⑦0077 までご連絡ください
出前サボステ若者 自立の無料相談	毎月第2土曜日	9:00～12:00	中央公民館	☎0744-44-2055 fax0744-44-2056 (若者サポートステーションやまと)
子育て相談	毎月第2・第4水曜日	9:00～16:00	生き生きプラザ 斑鳩相談室	福祉課 (☎内線125)
女性のための相談	11日(金) (第2金曜日) 25日(金) (第4金曜日)	9:30～12:30 13:00～16:00	役場会議室	予約専用☎0745⑦9269 休日を除く8:30～17:30
増改築無料相談	19日(土) (毎月第3土曜日)	13:00～16:00	中央公民館	全奈良建築斑鳩支部 ☎0745⑦1218

※相談の日程が9:00～16:00の場合は、12:00～13:00の間は不在となります。

● 広告枠 ●



斑鳩町シルバー人材センターの 会員を募集しています

斑鳩町シルバー人材センター

小吉田2丁目2-24

(☎0745⑦0884)

毎年10月はシルバー人材センター普及啓発月間です。社会奉仕活動等で、広く地域住民のみなさんに普及活動をおこなっています。

シルバー人材センターには、町在住、60歳以上の人で、健康で働く意欲のある人が入会できます。(理事会の承認要) 関心のある人は、原則毎月第1月曜日の午前9時30分から開催している入会説明会にお越しください。

スポーツ

問合せ
申込 中央体育館(水曜休館)
(☎0745⑦3100)

斑鳩レクリエーション フェスティバル

町内で活動する室内軽スポーツのグループと一緒に色々なスポーツを体験します。(当日自由参加)

日時 10月26日(土)

午前9時30分～

場所 中央体育館

対象 町在住・在勤の人(老若男女
どなたでも)

服装 動きやすい服装・上靴

※町内で活動している室内軽スポーツグループの参加を募ります。

シニアスローピッチ ソフトボール大会

日時 10月27日(日)午前8時30分～

(予備日 11月3日(祝・日))

場所 天満スポーツグラウンド

資格 町在住・在勤の人

チーム編成 10人～15人(監督含む)

※年齢制限 50歳以上3人、60歳以上

上または女性を含め6人(常時9

人出場のこと) 女性は、小・中・

高校生は除く

参加費 1チーム3,000円

申込 10月7日(月)～21日(月)

テニス大会

日時 10月27日(日)

午前8時45分～

予備日 12月1日(日)

場所 すこやか斑鳩・スポーツセン

ターテニスコート、健民テニス

コート

試合方法 各クラス別ダブルスによ

るリーグ戦および決勝トーナメン

ト戦とするが、申込数によりトー

ナメント戦のみとする場合あり。

クラス区分 男子一般、女子、男子

壮年(55歳以上)

参加費 1ペア 500円

大会当日徴収

申込 10月7日(月)～21日(月)

バドミントン大会

日時 11月3日(祝・日)午前9時～

場所 中央体育館

資格 町在住・在勤の人

試合方法 参加者数によりトーナメ

ント戦またはリーグ戦

クラス区分「競技は男女別」

一部：2年以上の経験者

二部：2年未満の経験者と40歳以

上(各部ともダブルス)

申込 10月14日(祝・月)～28日(月)

抽選 主催者側でおこないます。

催し

「行政なんでも相談所」を
開設します

奈良行政評価事務所

(☎0742②40300)

日時 10月17日(木)

午前10時～午後3時

場所 リーベル王寺東館5階

内容 国などの行政全般(登記・税

金・年金・保険・道路等)

*相談無料・秘密厳守

*弁護士による法律相談も実施

2013年 新市町村振興宝くじ～お買い求めは奈良県内で～

オータムジャンボ宝くじ発売

好評発売中! 10月11日(金)まで

(売切れ次第発売終了)

この宝くじの収益金は、県内市町村に交付され、明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。

・当せん金 1等・前後賞合わせて3億9千万円!

1等 3億3,000万円×13本、

前後賞各 3,000万円×26本

(どちらも発売総額390億円・13ユニットの場合)

サンキューオータム賞 39,000円×65,000本

・販売価格 1枚300円

お問い合わせ：公益財団法人奈良県市町村振興協会

☎：0744-29-8256 HP：http://www.nara-shinko.or.jp/



秋の花巡りラリーを開催 〜聖徳太子をテーマに〜

いかるが花と浪漫回廊 山本

(☎090-9889-1275)

11月1日(金)〜4日(振替休日・月)の間、町内5箇所に聖徳太子をテーマにした、花のオブジェを設置しています。

設置場所

- ・法隆寺駅南口
- ・藤ノ木古墳
- ・斑鳩文化財センター
- ・法隆寺iセンター
- ・三町会館(法隆寺1-2-26)



10月の納税

納期限 **10月31日(木)**

- 町民税(普通徴収第3期分)
……… 税務課(☎内線153)
 - 国民健康保険税
後期高齢者医療保険料(普通徴収第4期分)
……… 国保医療課
 - ……… 国保医療課
 - ……… 国保医療課
 - 介護保険料(普通徴収第4期分)
……… 福祉課(☎内線123)
- お忘れなく納付してください。

第3回西和ふれあい祭り

〜あなたの心で

ひろがるやさしさ〜

を開催します

生活支援センターなつほし

(☎0745-2390)

精神障害者の社会参加を促進するためには、地域の理解と協力が不可欠です。地域活動支援センターまーぶるでは、地域のみなさんや関係機関などに感謝の想いを伝えるため、「第3回 西和ふれあい祭り」を開催することになりました。みなさんのご来場をお待ちしています。

日時 10月26日(土)

午前10時〜午後3時

場所 地域活動支援センター

まーぶる(神南5-14-13)

内容 模擬店、作品展示など

●平成24年4月から

すべてのごみを祝日も収集しています

10月14日(祝・月)

可燃ごみ(月・木地区)、不燃ごみ(B地区)、枝葉・草類(月曜地区)のごみ収集あります
環境対策課(☎内線133)

大規模な土地取引には届出が必要です

提出期限は契約締結日から2週間以内です

奈良県地域振興部地域政策課

(☎0742-8484)

国土利用計画法は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため土地取引の届出制度を設けています。土地取引に係る契約(予約含む)をしたときは、権利取得者(例えば、買主)は、契約締結日から2週間以内に土地売買等の届出をしなければなりません。

届出が必要な土地の面積

- 市街化区域 2,000㎡以上
- 市街化調整区域 5,000㎡以上

都市計画区域外10,000㎡以上
【届出先】 届出書に必要事項を記入し、添付書類(契約書の写し、地図など)とともに、土地の所在する市町村役場に届けてください。

【審査内容】 土地の利用目的が土地利用基本計画などの土地利用に関する計画に適合しない場合には、利用目的の変更を勧告し、是正を求めることがあります。

【罰則】 届出をしなかったり、虚偽の届出をすると6か月以下の懲役、または、100万円以下の罰金に処せられることがあります。

悪徳業者に注意

上水道課

(☎0745-1401)

最近、上水道課職員と名乗り、あるいは上水道課から委託されたかのように装った業者が、個人宅内の配管の点検や洗浄などをおこない、高額な料金を請求する事象が起きています。

上水道課では、このような行為は一切おこなっていませんので、被害にあわないようご注意ください。

上水道課が個人の敷地内に入る業務は、水道メーターの検針・取替と水道管の漏水調査で、上水道課が委託した業者は、上水道課が発行した身分証明書を携帯しています。不審に思った場合は提示を求めてください。



「老人憩の家」に 来ませんか？

斑鳩町では、高齢者のレクリエーションや交流の場として、「老人憩の家」を町内に2か所設置しています。「老人憩の家」では、お風呂のほか、カラオケや囲碁、将棋などの趣味を楽しむことができる部屋をご用意しています。お近くの60歳以上の友だちや知りあいを誘い合わせて、ぜひ利用してください。もちろん1人でも大歓迎です。

利用対象 町在住の60歳以上の人（斑鳩町高齢者優待利用券または、年齢がわかるものを提示してください）

利用料 無料

団体の利用 「老人憩の家」では、大広間等の部屋を貸し切って団体に利用することもできます。

団体利用については事前の申請が必要です。福祉課または、利用する「老人憩の家」の窓口で「老人憩の家使用許可申請書」を提出してください。予約は利用予定日の2か月前から受け付けています。

開館時間 午前9時～午後5時

お風呂は午前10時～午後4時

休館日 毎週水曜日、祝日（日曜日の場合は振替休日）、年末年始（12月29日～翌年1月3日）

場所 西老人憩の家

神南215-11

☎0745(74)1517

東老人憩の家

幸前218-9

☎0745(74)5050

問合せ 各老人憩の家または、役場

福祉課（☎内線126）まで

※駐車場に限りがありますので、コミュニティバス等をご利用ください。



▶ 東老人憩の家



◀ 西老人憩の家

福祉医療費助成制度のご案内

斑鳩町では、下記の対象となる人に医療費の助成をおこなっています。対象となる人で、まだ申請をしていない人は、国保医療課で手続きをしてください。

制度名	対象者	助成内容
老人医療	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税世帯に属する人	医療機関で支払った自己負担の一部を助成します
子ども医療	0歳以上小学校就学前の乳幼児および小・中学生	医療機関で支払った自己負担を助成します
心身障害者医療	1歳以上75歳未満の身体障害者手帳1級～3級または療育手帳A・Bの人（※）	医療機関で支払った自己負担を助成します
重度心身障害老人等医療	後期高齢者医療制度の被保険者で身体障害者手帳1級～3級または療育手帳A・Bの人（※）	医療機関で支払った自己負担を助成します
ひとり親家庭等医療	配偶者のない父・母等で18歳未満（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の児童を養育している人とその児童（※）	医療機関で支払った自己負担を助成します
精神障害者医療	精神通院の自立支援医療の適用を受けている人（※）	精神通院の自立支援医療の自己負担（原則10%）を助成します

保険診療分が助成対象です。（食事療養等の自己負担は除きます）（※）扶養人数に応じた所得制限があります。

申請手続き、問合せは国保医療課（☎内線112・113）まで

10/26

家庭教育学級

中央公民館(水曜日休館) (☎0745⑦1511)

「アメリカの教育における親の役割」
 講師 斑鳩町ALT ジャック・アロワ氏
 対象 町在住の園児・小学生・中学生の保護者
 日時 10月26日(土) 午前9時30分～11時
 場所 中央公民館 創作室
 受講料 無料
 申込 10月14日(祝・月)までに、電話(午前9時～午後5時)で中央公民館へ申し込んでください。
 ※無料託児あり

10/11

人権セミナー

中央公民館(水曜日休館) (☎0745⑦1511)

演題 「地域社会で生きる！
 ～特別支援学校生徒とかかわって～」
 講師 NPO法人ならチャレンジド 赤川 義之氏
 日時 10月11日(金) 午後1時30分～
 場所 中央公民館大ホール

10/26

販売促進のための手書きPOP講習会

生駒郡商工会広域協議会 (☎0745⑦2564・fax0745⑦1449)

売り上げを上げるPOPの最新テクニック、消費者の購買心理と行動に即したPOPの効果的な活用法を学びましょう。(2回連続の講座です)
 対象 事業者およびその従業者
 定員 30人(先着順)
 場所 斑鳩町商工会館 大会議室 (龍田南1-3-49)
 日時 10月26日(土)・11月2日(土) 各日午前6時～9時
 受講料 商工会員 1,000円 一般 2,000円 (資料およびPOPペン代含む)
 申込 10月20日(日)までに、電話、またはfaxで住所、氏名、事業所名を協議会へお知らせください。

11/3

太子あすかふるさとまつり

企画財政課 (☎内線254)

太子ゆかりの地友好都市「兵庫県太子町」のイベントに参加しませんか。時代行列や物産展など楽しい催しがいっぱいです。その後、「法隆寺地域の仏教建造物」と同じく、今年で世界遺産登録20周年を迎えた「姫路城(*)」を見学します。
 (*) 姫路城は現在保存修理中ですが、大天守修理見学施設「天空の白鷺」をご覧いただけます。
 対象 町在住の人(小学生以下は保護者同伴)
 日時 11月3日(祝・日) 午前8時出発 午後6時30分帰着予定 (斑鳩町役場東側駐車場集合・解散)
 費用 大人 1,500円 中学生以下 1,000円 (交通費、姫路城入城料を含む)
 持ち物 弁当、水筒 (当日、会場に出店もあります)
 申込 10月21日(月)までに、電話、fax(0745⑦1011)、はがき(〒636-0198斑鳩町役場)、またはEメール(kikaku@town.ikaruga.nara.jp)で、住所・氏名・年齢・電話番号を企画財政課へお知らせください。
 定員 40人(応募多数の場合は抽選)
 ※雨天などにより「太子あすかふるさとまつり」が中止の場合は、中止します。

11/2~11/3

斑鳩文化財センター (☎0745⑦1200)

史跡 藤ノ木古墳 秋季石室特別公開

斑鳩文化財センター秋季特別展の開催にあわせて藤ノ木古墳の石室を特別に公開します。石室や石棺の実物を間近に見て、藤ノ木古墳の歴史や魅力を体感してください。

日時 11月2日(土) 11月3日(祝・日)

午前9時～午後5時

場所 史跡藤ノ木古墳 (法隆寺西2丁目)

見学料 無料

※見学者多数の場合、当日の午前8時30分から、現地にて整理券を配付します。

▼昨年ようす





11/3~
11/7

斑鳩の里文化芸術祭

生涯学習課 (☎内線238)

日時 11月3日(祝・日)~7日(木)
(5日(火)は休館)

場所 いかるがホール

芸術の秋、素敵な文化の風に吹かれてみませんか

●11月3日(祝・日)

オープニング: 午前10時~11時

和太鼓いかるが演奏、式典、町功労者表彰、美術展覧会入選者表彰、菊花展入賞者表彰、町立各小学校児童によるアトラクション

お茶会: 午前9時~正午(町民ロビー)
完売次第終了

●11月3日(祝・日)~7日(木) (5日(火)は休館)

美術展覧会: 午前9時~午後5時
(小ホール・研修室)

最終日(11月7日(木))は、午後3時まで

菊花展: 午前9時~午後5時

(ホール正面玄関・11月8日(金)まで)

11/2~
12/1

斑鳩文化財センター秋季特別展

斑鳩 藤ノ木古墳 の銅鏡展

斑鳩文化財センター
(水曜日休館)
(☎0745⑦1200)

今回の里帰り展では、藤ノ木古墳から出土した国宝の銅鏡4面を里帰り展示するとともに、県内の古墳より出土したさまざまな種類の銅鏡を展示します。

日時 11月2日(土)~12月1日(日)
(開催期間中は無休)
午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

場所 斑鳩文化財センター展示室

展示品 藤ノ木古墳出土の銅鏡をはじめ、新沢千塚古墳群(檀原市)など、県内の古墳出土の銅鏡

観覧料 大人300円

高大学生100円

中学生以下無料

※20人以上の団体の場合
割引あり



▲ 獣帯鏡

11/24

こども考古学教室

こども鏡づくり教室

斑鳩文化財センター(水曜日休館)
(☎0745⑦1200・fax0745⑦1201)

対象 町在住の小学
4~6年生とその
保護者

定員 10組20人
(定員を超えた場
合は抽選)



日時 11月24日(日)午後1時~4時(予定)

場所 斑鳩文化財センター集合
(鏡づくりは中央公民館創作室でおこな
います)

参加費 材料費(600円)・保険料(100円程
度)を当日徴収します。

申込 10月28日(月)~11月15日(金)に、文
化財センター窓口(fax可)へ申し込ん
でください。

※10月29日(火)~11月1日(金)の臨時休
館期間も、電話での問い合わせやfax
による申し込みは可能です。

小田原市との文化交流事業

小田原歴史探訪

斑鳩文化財センター(水曜日休館)
(☎0745⑦1200・fax0745⑦1201)

小田原市の歴史や文化について理解を深
めていただくことを目的に、小田原市の文
化財などを一泊二日で訪ねます。

対象 町在住・在勤の人

定員 30人(定員を超えた場合は抽選)

日時 (出発) 11月16日(土) 午前7時
(帰着) 11月17日(日) 午後7時
(予定)

見学地 史跡小田原城跡、史跡石垣山、
尊徳記念館など

費用 2万円程度(詳しくは、申込時に確
認してください)

申込 10月3日(木)~10月18日(金)に、文
化財センター窓口(fax可)へ申し込ん
でください。

11/16~
11/17

10/6~
10/31

法隆寺村の天誅組志士 北畠治房 — 北畠男爵資料展 —

斑鳩町立図書館 聖徳太子歴史資料室
(☎0745⑦7733・fax0745⑦7735)

文久3(1863)年、法隆寺村生まれの北畠治房(平岡鳩平)は、中宮寺侍講の伴林光平とともに、尊皇攘夷を掲げて蜂起した天誅組の変に参加しました。後にその功績が讃えられ、男爵の爵位を授けられます。また、旧北畠男爵邸は、斑鳩町内において貴重な近代和風建築の一つとなっています。天誅組の変から150年の今年、北畠治房の子孫から奈良県立図書情報館に寄贈された北畠治房関連資料を中心に、当館蔵の関連資料をまじえ図書・資料の展示をおこないます。



開催期間 10月6日(日)～10月31日(木)
(火曜日・祝日・第二木曜日の休館日を除く)

開催場所 町立図書館 聖徳太子歴史資料室

展示内容 「北畠治房国事ニ奔走ノ履歴書草稿」など北畠治房関係資料

東日本大震災及び紀伊半島大水害復興支援

10/26

相川七瀬チャリティーライブ in 中宮寺 ～ 笑顔と安らぎの心を～

東日本大震災および紀伊半島大水害の被災地では、日々復興に向けての活動がおこなわれています。しかし、まだまだ長い道のりが予想されます。

こうした中、笑顔になれる日が1日でも早く訪れることを願い、音楽を通して復興を応援されている相川七瀬さんによるチャリティーライブがおこなわれます。

このライブによる収益金は、東日本大震災の被災地(岩手県陸前高田市、大槌町)と紀伊半島大水害の被災地(奈良県十津川村)への義援金とさせていただきます。

日時 10月26日(土) 開場: 午後1時30分 開演: 午後2時

場所 中宮寺本堂前特設ステージ

※雨天決行(荒天の場合は同寺「中宮寺鳩和殿」)

※会場には駐車場・駐輪場はありません。

ご来場の際は公共交通機関を利用してください。

主催 中宮寺

後援 斑鳩町・法隆寺・国際ソロプチミスト-奈良まほろば・

奈良新聞社・奈良日日新聞社・朝日新聞奈良総局・

産経新聞奈良支局・毎日新聞奈良支局・読売新聞奈良支局・奈良テレビ放送株式会社(順不同)

入場料 前売: 3,000円 当日: 3,500円

※中宮寺寺務所・企画財政課窓口で販売しています。また、当日会場にてお引換えいただける「チケットお取り置きサービス」をご用意しています。詳しくは「役場ホームページ」で確認してください。

問合せ 企画財政課(☎内線252・253)



中宮寺



相川七瀬



10
30~

法隆寺地域の仏教建造物
世界遺産登録20周年記念イベント

美ウオーク ~ 4週連続斑鳩旅 ~

秋の「美」しい斑鳩の里を眺めながらウォーキングをすることで、「美」しく健康的な体に磨き上げ、斑鳩の歴史や文化を学「び」、ゴールで「美」味な食を味わいます。一緒に斑鳩の里で4つの「美」を体験しませんか。

■ 日程及びコース (各コースの距離は約8kmです)

	日程	コース名	ルート
第1回	10月30日(水)	三塔いにしへの道	法隆寺⇒法輪寺⇒法起寺⇒中宮寺跡⇒旧北畠邸
第2回	11月6日(水)	會津八一の歌碑めぐり	上宮遺跡公園⇒法輪寺⇒中宮寺⇒法隆寺
第3回	11月13日(水)	奈良街道と龍田城跡	龍田神社⇒竜田公園⇒龍田城跡⇒吉田寺
第4回	11月20日(水)	松尾山参りの道	法隆寺⇒斑鳩神社⇒松尾山

主催 斑鳩町 (共催：一般社団法人斑鳩町観光協会)

集合時間 午前9時 出発：午前9時30分 終了：午後0時30分頃
(荒天中止 (当日午前7時に決定))

集合場所 法隆寺 i センター

募集人員 各回先着50人

参加費用 1人300円を当日徴収 (第2回目は別途法輪寺・中宮寺の拝観料1,000円を徴収)
※完歩後、参加者全員にお茶・菓子を配布します。

申込方法 10月7日(月)~10月23日(水)の午前9時~午後5時に電話で住所、氏名、連絡先、参加希望コースをお知らせください。(ただし、上記期間終了時点で第2回以降の参加者が定員に満たない場合は、各回の1週間前まで申し込み受け付けをおこないません) また、参加者には参加票を郵送します。

申込・問合せ先 一般社団法人斑鳩町観光協会 (法隆寺 i センター)
(斑鳩町法隆寺1-8-25 / ☎0745-74-6800)



10
17

西和警察署生活安全課
(☎0745⑦0110)

全国地域安全運動
西和地区大会

地域社会の安全を確保するためには、西和地区の地域住民や事業者・自治体・防犯ボランティア・警察等が、団結して、防犯ネットワークを構築することが必要です。

この大会は、自主防犯活動を促進して、社会の規範意識の向上と絆の強化を図り、犯罪の起きにくいまちづくりを推進するため開催されます。申し込み不要、参加費無料です。なたでも参加できます。ぜひ積極的に参加してください。

日時 10月17日(木)

午後1時30分~4時

場所 いかるがホール 大ホール

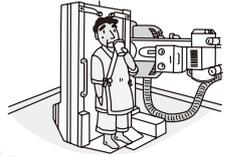
内容 NPO法人日本防犯学校学長の梅本正行氏に

よる基調講演・各種表彰伝達・学生ボランティアによる寸劇等



斑鳩町に警報発表時には検診・教室等を中止することがありますので「保健センター」にお問い合わせください。

がん検診予定表 (事前申込要：電話申込可)



10月10日は「奈良県 がん向き合う日」です

事業名	月日	受付時間	対象者	注意事項
大腸がん検診 (容器提出日)	10月29日(火)	9:00~11:00	35歳以上	○容器は事前に保健センターで購入してください。(容器代300円)
乳がん検診 (マンモグラフィ・視触診併用)	11月11日(月)	8:45~10:30	40歳以上の女性 (申込先着90人) (平成24年度に町の検診を受診されていない人)	○検診を受けられない人 ・ペースメーカーを入れている人 ・乳房形成術を受けた人 ・授乳中の人
胃がん検診	11月13日(水) 11月14日(木)	8:30~10:00	35歳以上 (申込先着各20人)	○検査前日の夕食は、午後9時までにはすませてください。 ○検査当日の朝は、絶飲食です。(水・煙草・薬も飲まないでください) ※過去にバリウムを飲んで体調が悪くなった人は申込時に必ずお伝えください。
胃がん・肺がんセット検診		8:30~10:00	40歳以上 (申込先着各70人)	
肺がん検診		10:30~11:00	40歳以上 (申込先着各20人)	

- ☆申込み時に、必ず前回受診日をお知らせください。【乳がん検診は2年に1回です。】
- ☆検診時は、必ず健康手帳をご持参ください。
- ☆4週間前後で結果がわかります。異常の有無にかかわらず、検診結果を通知します。
- ☆胃がん・肺がん検診当日は、ボタン・金具などのない無地のTシャツなどで、体をしめつけない服装でお越しください。
- ※検診で手話通訳が必要な人は fax で申し込んでください。
- ※胃がん検診時には託児があります。希望の人は事前に申し込んでください。

健康相談予定表 (事前申込要：電話申込可)

事業名	月日	時間	定員	内容
こころの健康相談 (精神保健福祉士による)	10月21日(月)	13:00~15:00	2人	こころの病気かどうか心配である、最近家族のようすがおかしいなどの相談
個別栄養相談 (栄養士による)	10月16日(水)・24(木)・30(水)・11月12日(火)	10:00~正午 13:30~16:30	各日 3人	高血圧・高血糖・高コレステロールなどの状態に応じた栄養相談

費用
500円
筆記用具

申込
10月25日(金)まで

持物
エプロン・三角巾(髪の毛を覆えるもの)・ふきん2枚

対象
町在住の20歳以上の人

内容
調理実習

日時
10月30日(水)
午前10時~午後1時

**高齢者の
バランス料理教室**

※託児あります。(予約制・先着10人)

定員
80人(先着順)

申込
10月17日(木)まで

場所
大会議室

対象
町在住の20歳以上の人

講師
かじもと眼科クリニック
梶本 秀和 医師

内容
「目の病気をもちと知ろう!!」
〜アレルギー・白内障・緑内障など〜

日時
10月22日(火)
午後2時~3時30分
(受付 午後1時30分)

健康づくり講演会



斑鳩町は妊産婦にやさしい環境づくりを推進しています

母子ほけん事業予定表



事業名	実施日	受付時間	対象者	内容等
乳幼児相談(個別)	10月21日(月)	9:30~11:00	就学までの児	○育児や食事のことなどについての相談 申込: 10月18日(金)まで
子育て教室	10月22日(火)	9:45~10:00	就園までの児とその保護者	○テーマ: 楽しく遊ぼう! 内容: 手遊びなど 申込: 10月3日(木)~10月21日(月) ※先着30組
わんぱく広場	10月24日(木)	9:45~10:00	H24年10・11月生	○発達と育児のポイントについての話(しつけ、卒乳等) 持物: 母子健康手帳、筆記用具 申込: 10月23日(水)まで
		13:15~13:30	H25年4・5月生	○発達と育児のポイントについての話(赤ちゃん体操等) 持物: 母子健康手帳、筆記用具 申込: 10月23日(水)まで
	10月25日(金)	9:45~10:00	H25年2・3月生	○発達と育児のポイントについての話(歯みがき、事故防止等) 持物: 母子健康手帳、筆記用具 申込: 10月24日(木)まで
乳幼児相談(身体計測)	11月5日(火)	13:30~15:00	就学までの児	○身長・体重・頭囲・胸囲測定 持物: 母子健康手帳 申込: 10月3日(木)~11月1日(金) ※先着80人
2歳6か月児健診(歯科)	11月7日(木)	13:00~13:30	H23年2・3月生	○歯科診察、フッ素塗布 ※希望者のみ保護者の歯科診察あり 持物: 母子健康手帳、問診票、歯ブラシ、コップ 対象者には個人通知します。
3歳児健診(内科・歯科)	11月8日(金)	12:45~13:30	H22年2・3月生	○内科・歯科診察、身体計測、フッ素塗布 持物: 母子健康手帳、問診票、朝一番の尿、歯ブラシ、コップ 対象者には個人通知します。

☆詳しくは保健センターに問い合わせてください。

パパママスクール(秋コース) ~ドキドキわくわくハッピーマタニティライフ~

テーマ	実施日	実施時間	内 容
もうすぐ会えるね ~お産を知ろう~	10月16日(水)	13:30~15:30	助産師による妊娠中の過ごし方・お産についての話
赤ちゃんがやってきた! ~おふろ大好き~	10月26日(土)	10:00~12:00	助産師による沐浴指導 赤ちゃん人形を使って沐浴体験
どんな食生活が良いの? ~お腹の中で赤ちゃんの体はつくられている~	11月6日(水)	13:30~15:30	栄養士による妊娠中に摂りたい栄養バランスの話 すぐ実践できるメニューを紹介・骨密度測定(希望者)
・乳歯は胎児の時にできています ・パパの子育てってどんなこと?	11月16日(土)	10:00~12:00	歯科衛生士によるママと赤ちゃんの歯の健康についての話 パパのための赤ちゃんとのふれあい遊びの紹介

対象: 妊娠中の人とその家族 持物: 母子健康手帳 申込: 10月11日(金)まで

費用
1人300円
10月23日(水)まで
筆記用具

持物
エプロン・三角巾(髪の毛を覆えるもの)・ふきん2枚

定員
親子で30人

場所
保健センター

対象
小学生の親子

内容
調理実習

日時
10月26日(土)
午前10時~午後1時

伝統料理親子料理教室

定員
50人(先着順)

申込
10月16日(水)まで

※託児あります。(予約制・先着20人)

場所
大会議室

対象
生き生きプラザ斑鳩2階

講師
植田 眞永 医師

内容
「子どもの予防接種について」
(受付 午後1時~)

日時
10月21日(月)
午後1時30分~3時

健康講座
ママカアップ講座
子育てのコツを学ぼう





平成25年10月1日発行
(通巻577号)

●保健センター(生き生きプラザ斑鳩内)●
☎0745(70)0001 / fax0745(74)0903

人の動き

👤 28,383人
(前月比 -28)
男13,458人
女14,925人
🏠 11,191世帯
(前月比 +4)
(平成25年8月31日現在)

問合せ
斑鳩町総務部企画財政課
〒636-0198
奈良県生駒郡斑鳩町
法隆寺西3丁目7-12
☎ 0745@1001
fax 0745@1011
※かけ間違いに注意!

🖥️
ホームページ
http://www.town.
ikaruga.nara.jp/
Eメール info@town.ikaruga.nara.jp



「斑鳩の記憶」アーカイブ化のワーク
ショップでは、昔を思い出して生き生き
とする参加者の顔が印象的でした。逆に
斑鳩の昔を知らない私にとっては新鮮な
驚きの写真や話ばかり。「記憶」は人の
頭だけに残されるものと思いましたが、
共有の財産になるって素敵ですね。
(た)

健康豆知識

ロコモティブ シンドロームって何?

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは、「立つ」「歩く」などの運動機能が衰えている、または衰え始めている状態をいいます。

症状には、

- ・正座をするのがつらい
- ・片足立ちで靴下がはけない
- ・手すりがないと階段が上がれない
などがあります。

日常的にあまり体を動かさず、筋肉の衰えに無関心な人ほどロコモティブシンドロームになりやすいと考えられます。また偏った食生活もリスクを高める要因になります。栄養バランスを考えた食事をし、日頃から体を動かし、ロコモティブシンドロームを予防しましょう。

～無理せず自分のペースで
続けられる運動がおすすめ～



ウォー
キング

体操

はつらつ運動教室

健康運動指導士から、家庭
のできる運動や効果的なウオ
ーキング方法などを学びます。

日時 10月31日(木)

午前9時30分～11時

内容 呼吸法、ストレッチ、
筋力運動など

対象 町在住の20歳以上の人

場所 生き生きプラザ斑鳩

持物 1階機能回復訓練コーナ
ー

定員 飲み物・タオル

申込 30人(先着順)

10月28日(月)まで

骨密度測定

日時 11月6日(水)

午前9時～11時

午後1時30分～

3時30分

対象 町在住の20歳以上
の人

場所 保健センター

定員 120人(先着順)

持物 健康手帳

申込 10月15日(火)から

※申込み時に予約時間を
お伝えします

インフルエンザ

予防接種のお知らせ

対象 接種当日満65歳以上の
人(ただし、60歳以上65歳
未満の人で心臓、腎臓、呼
吸器の機能に障害を有する
人は対象となる場合があります
ますので、かかりつけ医に
相談してください)

申込 10月1日(火)から委託医
療機関へ申込み

接種期間 平成25年10月1日
(火)～平成26年1月31日(金)

※接種開始日は医療機関によ
り異なります。

費用 無料
持物 保険証・健康手帳

広報クイズ

町政や広報に
についてのご意
見・ご要望も、
お書き添え
ください。

Q 文化財センターの秋季特別展
で展示される、藤ノ木古墳か
ら4面出土したものは何でしょう?
(10月12日必着)

応募方法 はがきにクイズの答え、住所、氏名、電
話番号を書いて、「〒636-0198 斑鳩町役場・広報
クイズ係」まで。正解者のなかから、抽選で2人
に図書カードをプレゼントします。プレゼントの
当選は、発送をもってかえさせていただきます。

9月号のクイズの答 いかのおすし
(応募総数25)

町民憲章 (平成9年5月9日制定)

わたしたちは、聖徳太子ゆかりの斑鳩のまちに住むこと
を誇りとし、「和」の精神を尊び、明るく豊かな郷土を
つくります。

- 一、歴史と文化を大切にし、貴重な遺産を次の世代に
伝えます。
- 一、恵まれた自然との調和をはかり、やすらぎのある
まちにします。
- 一、人権を尊重し、心のふれあ
うまちをめざします。
- 一、ともに生き、ともに学び、
未来を拓く活力のあるまち
にします。
- 一、知恵と力を出し合い、住み
よいまちを築きます。



町の木・くるまつ